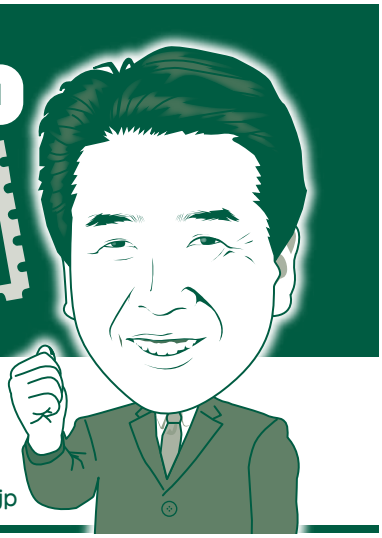
札幌市議会 市政報告 vol.12 2016.1

林せいじ 市政だより



市民が主役の街づくり。

［発行者］札幌市議会民主党・市民連合
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 ☎011-211-3212
林せいじ事務所 〒002-8025 札幌市北区篠路5条2丁目3-14
☎011-775-6321 FAX011-775-6322
http://hayashi.main.jp/ hayasi-seiji-jimusyo@biscuit.ocn.ne.jp

札幌市議会 2015年第4回定例会

本会議で代表質問

昨年11月27日に開会した札幌市議会第4回定例会が12月10日閉会しました。主な議案は補正予算、市有施設の指定管理者指定、条例改正などであります。最終日には、27件の議案すべてを可決しました。

秋元市長はまちづくりの指針である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の実現に向けて、2019年度までの中期実施計画として、アクションプランを策定しています。上田市長体制で策定された「札幌市まちづくり戦略ビジョン」ですが、秋元市長は市長政策室長・副市長として携っており、札幌市の持続的発展に向けてビジョンの具体的推進を強い決意で進めて行く方針を示しています。

私は本会議で代表質問を行い、アクションプランや市政の課題などに対して市長の取り組み姿勢など12項目を問いました。具体的内容は別に記載しますが、アクションプラン実行に向けた市政推進体制づくり、新年度予算編成方針、まちづくりの在り方など市長の気持ちのこもった答弁を引き出しました。

新年度予算については、2月から始まる第1回定例会において、審議することとなりますが、秋元市長が考える札幌市のまちづくりに対して、充実を求めて、意見提言を行い、更に「市民が主役のまちづくり」を進めて行きます。

札幌市議会議員 林 せいじ

2015年 第4回 定例札幌市議会
代表質問ダイジェスト

第4回 定例札幌市議会は12月2日に代表質問が行われ、私は全体で12項目にわたり質問を行いましたが、誌面の都合上、抜粋して掲載いたします。

1 2016年度予算編成について

新年度予算は中期実施計画アクションプランに基づく予算編成となるが、様々な課題もあり、楽観できない状況である、どのような姿勢で、予算編成をしていくのか。

答弁：アクションプランスタートとなる予算であり、確実に実行して行く。持続可能な財政運営の観点から、市債や基金の残高も考慮し、メリハリのきいた予算編成とする。

2 路面電車ループ化に伴うまちづくりについて

ループ化の効果を最大限に発揮し、路面電車をまちづくりに生かして、経済効果を市内全域に波及させるべき、賑わい創出や路面電車利用促進に向けた取り組みを進めるべき。

答弁：路面電車沿線の商店街などからにぎわい創出につながる動きも出ている、今後も連携を充実・発展させて、賑わい創出や路面電車利用促進にむけ、取り組んでいく。

3 地球温暖化対策について

札幌市温暖化対策推進計画を策定して取り組んでいる。札幌市の現状は行政機関・市有施設などから排出される温室効果ガスは6％程度であり、企業・地域などの協力が重要である。どのように取り組んでいくのか。

答弁：アクションプランの中にも多くの事業を展開することとしている。市民・事業者と一体となって、環境首都・札幌を目指して温暖化対策に取り組んでいく。

4 幹線道路再整備について

大型自動車などが通行する幹線道路では、通行量の増加や、昼夜の寒暖差による凍結融解の繰り返しで舗装の負担となっている。部分補修やオーバーレイ工事で対応しているが、路盤も含めて工事を行うことで、長寿命化や将来的なコスト削減につながるのではないか。

答弁：幹線道路の舗装の強度などの健全度調査を行う。交通量に応じた抜本的な再整備が必要な区間の抽出を行い、来年度から計画的な再整備に取り組んでいく。

5 杭打ちデータ流用問題について

杭打ちデータ流用問題で、札幌市においても5件のデータ流用が判明した。さらに別の施工業者においても問題が発覚している、市民の不安解消のため調査対象を拡大すべき。民間の建物でデータ流用が判明した場合はどのように対応を行うのか。

答弁：国土交通省と連携しているほか、市独自にも施工業者と連絡を取り対応している。民間の建物のデータ流用に関しては業者から報告を受け安全性確認など、速やかに対応していく。

6 冬季オリンピック・パラリンピック招致について

招致を目指す冬季オリンピック・パラリンピックも競技施設の在り方をどのように考え提案していくのか。市民理解を進めるために、作成中の開催概要計画案を市民にどのように周知していくのか。

答弁：財政負担の軽減や大会後の利用など持続可能性など検討を行う必要がある。大会後も市民利用が可能な札幌らしいモデル案を作成する。開催概要計画案の周知においては、競技運営や施設配置、将来の財政負担などを示し、今後のまちづくりなど丁寧に説明し、市民の共感を得て行きたい。ワークショップの開催や経済界、競技団体などとも意見交換を行いながら、周知をはかっていく。

7 教育の大綱について

市長が策定した「育む さっぽろっ子 教育の大綱」はどのような思いで策定したのか。昨年策定した市教育振興基本計画との関係性と今後の教育の進め方はどのようなるのか。

答弁：大綱をまとめた、総合教育会議で教育に対する思いを教育委員会と共有できた。具体的な教育施策は教育振興基本計画に基づき展開していく、札幌の子供たちを健やかに育んでいくために大綱に掲げた教育方針を推進していく。

8 組織体制のあり方について

組織横断的に対応すべき新たな課題が多くなっている中で、札幌の持続可能な社会の実現に向けて、より実行力のある企画調整機能の構築が重要であり、どのように考え組織体制を構築していくのか。

答弁：都市の再構築をより迅速かつ的確に進めるため、政策立案部門と計画策定・事業実施部門が一体となった組織が必要である。また、情報技術を活用した先進的な取り組みなどを検討する組織体制も必要である。

ほかにも「大通・創世交流拠点のまちづくりについて」「ひきこもり支援について」「インフラビジネスグローバル化事業について」「防災用マンホールトイレ普及について」の12項目について質問を行いました。詳しくは私のホームページをご覧ください。

http://hayashi.main.jp/

林せいじ 検索

林せいじ活動報告

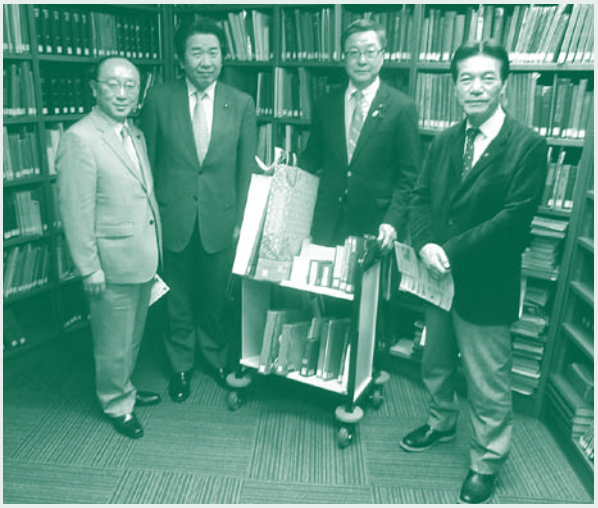
市議会経済委員会視察

路面電車ループ化開業

昨年１２月２０日に路面電車ループ化（都心線）が開業しました。日本では３例目となる歩道に沿って走行するサイドリザベーション方式での開業です。１２月１７日市議会経済委員会で視察（試乗）してきました。

平成２５年に大臣認定を受けて昨年から工事を進めてきました。議会でも様々な議論がされてきましたし、駅前通でタクシーの乗り降りと配送トラックの荷さばきが出来なくなることなどで、いろいろな意見もありましたが、今後市民や観光客の注目を集めることは間違いなしです。ループ化による利便性向上で路面電車の利用者が増えることと、沿線の活性化につながるよう、施策展開も必要となります。

今回の代表質問で取り上げましたが、今後さらに関係者と協議して都心の賑わいの軸となるよう期待しています。



会派視察

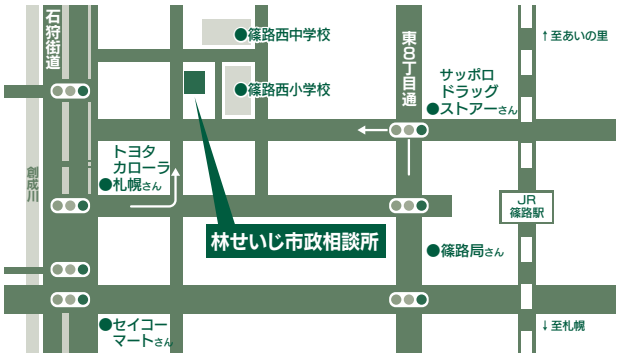
千代田区立
日比谷図書文化会館視察

昨年１１月２９日、会派議員４名で東京都日比谷図書文化会館を視察してきました。指定管理者制度を導入していて、図書館だけではなく、博物館、市民カレッジ、レストランなどが融合し複合文化施設として運営しています。

都心という地域性から、ビジネス書や企業統計、経済関係図書などの蔵書を多く所有しているが、住宅がないことから児童書は蔵書していない等、地域性を考慮した蔵書や、自由な職員の発想などで、時期や世相に合わせた企画展示などを行うなど利用者の興味を引く取り組みをしています。

札幌市が現在準備している市民交流施設に設置する、都心の図書館にも活用できることが多くあると思われました。

お知らせ

市政相談の際は、
お気軽にお立ち寄りください。

〒002-8025 札幌市北区篠路５条２丁目3-14
TEL 011-775-6321　FAX 011-775-6322